

あしよろ・ハードサポート通信



足寄のみなさま、こんにちは。

ハードサポート株式会社の久富です。当社は北海道内で酪農コンサルタント業務を行っている会社で、この春から足寄町農協の酪農家の皆さまと仕事をさせていただけることになりました。「ハードサポートって何?」とお思いの方もおられるでしょうから、通信第1号ではスタッフ紹介と業務内容の案内をしたいと思います。

◆ スタッフ紹介



村上 求 (むらかみもとむ)

ハードサポート(株)代表。1997年に日本大学大学院を修了。飼料会社に入社し、飼料営業を経験後、酪農家への飼養管理技術の提供を行うセクションに移る。得意分野は栄養。酪農雑誌への記事執筆も多く、現在はデーリィ・ジャパン誌にて「酪農家へのアドバイスのポイント」を連載中。



久富 聡子 (ひさとみさとこ)

2002年に帯広畜産大学を卒業。飼料会社に入社し、飼料営業、技術部門での業務に関わる。得意分野は牛群構成の把握や哺育育成管理。定期的な牧場ミーティングや、酪農家に向けた勉強会も数多く実施。英語文献翻訳も行う。

◆ ハードサポートの業務内容

わたしたちの役目は、酪農家の皆さまがより利益を上げて、健全に経営を存続してもらえようサポートをしていくことです。

酪農のスタイルは実に千差万別で、経営主が目指す目標もさまざまです。

豊富なバリエーションで酪農を営んでいけることは、この産業の大きな魅力のひとつだと考えています。

「乳量を伸ばしたい」、「コストダウンしたい」、「乳質を良くしたい」、「周産期疾病を減らしたい」、「繁殖成績を改善したい」、「粗飼料品質を高めたい」、「規模拡大したい」、

「放牧主体でやりたい」、「ゆとりある酪農を営みたい」、さまざまな目標があると思います。

そのために必要なのは栄養設計なのか、搾乳立会なのか、牛群構成を整えなければならないのか。わたしたちは、それぞれの酪農場の現状に合ったアプローチで、皆さまの目標達成と利益向上へのサポートをしていきます。

そのほか、家族や従業員間での目標や情報共有を目的とした定期牧場ミーティングや、各種勉強会の開催、アメリカ CVAS ラボへの飼料分析依頼の代行、酪農に関する英語文献翻訳などの業務も行っています。

◆ 足寄での拠点と連絡先



生乳センターに毎月延べ 15 日間駐在しています。5 日間は村上、10 日間は久富というのが基本です。巡回で留守にしていることも多いのですが、生乳センターにいらした際は、気軽に声をかけてください。

足寄不在日は電話、FAX、メールで対応しますので、下記までご連絡ください。

- ・ JA 営農部 : (電話)
- ・ 村上 : (携帯) 090-6264-6571、(Email) murakami@herdsupport.com
- ・ 久富 : (Email) hisatomi@herdsupport.com
- ・ ハードサポート(株) : (FAX) 011-261-8101

◆ あしよる ハードサポート通信をお届けします



次号からは巡回の中での話題や季節のトピックス、現場で見かけたアイデアなどの技術情報を中心にわかりやすくお伝えできるよう工夫していきます。

また、道内での酪農技術に関するセミナー開催予定があれば“別紙”の形でご案内していきます。

◆ さいごに

これから皆さまのところへ巡回を重ねていく中で、酪農場でのいろいろないい話、困った話を聞かせていただけたら幸いです。そして農協さん、NOSAI の先生方、普及センターさん、飼料会社さん、機械屋さんなど、周辺機関のご協力もいただきながら、皆さまのお困り事をひとつずつ解決していけたらと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。